

日和山小学校 保護者の皆様
日和山小学校区 地域の皆様



ひよりやま応援隊通信

元気いっぱいの日和山小学校の子ども達！5月に実施した運動会は入場制限をすることなく、たくさんの方から応援に来ていただきました。今回の通信では、令和5年度の地域と学校パートナーシップ事業、前期の活動をご紹介します。下校指導・集団下校・交通安全教室・校外学習の引率・プールの見守り・クラブ活動・学習支援など、多岐に渡りボランティアの皆様から力を貸していただきました。心から感謝いたします。後期もどうぞよろしくお願い申し上げます。



- 4月 1年 下校指導
全校 集団下校
3年 校外学習引率
- 5月 2年 校外学習引率
全校 歯科健診
4年 総合ゲストティーチャー
- 6月 全校 耳鼻科健診
4年 海岸清掃
2年 校外学習引率
5年 福祉のゲストティーチャー
1年 交通安全教室
3年 自転車教室
3年 ふるさと村引率
- 7月 全校 七夕短冊準備
1年 プール見守り
1年 体験型安全教室

ボランティアは随時募集中です！ぜひお待ちしております！
お申込みは下記連絡先に電話・FAX・メール、もしくは二次元コードでお願いします。

連絡先 地域教育コーディネーター 笠原直美・大縫綾子

[携帯電話]
[アドレス]
[日和山小学校]

080-8023-3474
hiyoriyama.es.partner@docomo.ne.jp
電話 025-229-3682 FAX 025-229-3683



二次元コードからの申し込み手順

- ① スマホでコードを読み取る。
- ② 「メール作成画面はこちら」をタップ。
- ③ 必要事項を入力し送信。

令和5年9月8日

新潟市立日和山小学校
校長 宇ノ井 修二

「健康をいただけるんですよ。」

感染症がそれほど気にならなくなり、数か月が過ぎました。

たくさんの自治・町内会が、ラジオ体操を復活し、この夏に取り組んでくださいました。目には見えないのですが、地域の方々と、そこに参加した子どもたちとの間に、「顔見知り」という関係が醸成されたことは、確かだと思っています。

昨年度は、コロナ禍の影響もあり、子どもが参加していた場所は4か所でした。今年はもっとたくさんの場所で、実施されていました。もしかすると、把握し切れていなかった場所があったかもしれません。当校の地域教育コーディネーターまでお知らせくださった場所には、できるだけ参加させていただきました。



教員なりたての新採用の頃、遠方に勤務していました。当時は土曜日でも午前中が勤務がありました。だから、そう簡単に地元に戻ることはできませんでした。盆や正月など、帰ることができるようなときには、ホッとした気持ちで自宅に向かいました。

運転しながら「はあ、やっと帰ってきた。」と感じる瞬間がありました。そう感じるのには、家に帰り着いた瞬間ではありませんでした。厳密に言うと、もう少し早い段階で「帰ってきた」と感じていたのです。我が家の裏にあった酒屋さんの車とすれ違った瞬間。沼垂白山神社の鳥居を見た瞬間。同級生のお母さんが、スーパーの袋をかごに入れて自転車をこぐ姿を見かけた瞬間。町内のおじさんが犬の散歩をしている姿を見かけた瞬間。そんな時、決まって、「やっと帰ってきた」と感じたのだと記憶しています。かかわりや生活経験の中で、地元の「におい」を知らなかったら、細かく言うなら「ひと（人）」「もの（建物など）」「こと（営み）」の存在を知らなかったら、早い段階で「帰ってきた」と感じることはなかったと思うのです。

日和っ子が大人になったとき、20年くらい先でしょうか、「しも町」の「におい」を何で感じるようになるのか楽しみでなりません。湊稻荷神社の高麗犬で感じるかもしれないし、水戸教公園の碑で感じるかもしれないし、自治会長さんや町内会長さんの「顔」で感じるかもしれないし、日和山の方角石で感じるかもしれません。日和っ子が感じる「しも町」の「におい」をできるだけ多くしてやりたいと考えています。



文部科学省から「地域と学校の連携・協働に向けた改革」という方向が数年前に示されました。この点に関しては、先進的な取組を続けてきた新潟市です。特に、この日和山小学校においては「地域との連携」が当たり前のように進められてきています。しかし、現状で妥協しない日和山小学校では、9月からの総合的な学習の時間において、さらに高みを目指そうと、夏休み中に検討会を開催しました。既に、それぞれの学年の方向が決まり、目標とする活動等が明確になりつつあります。その内諾やら、依頼やらで、走り回っているところです。今の段階で、内容をお話するわけにはいきませんが、楽しみで楽しみで仕方ありません。様々な学習を通して、日和っ子に「しも町」を理解させ、自分たちにできることを考えさせ、行動する力を身に付けさせたいと思っています。「しも町」をもっともっと好きになってほしいのです。「しも町」の「におい」をたくさんかいでほしいのです。日和っ子にとって、「しも町」こそが、日本中の、世界中の、どの場所よりも「心の落ち着く場所」であってほしいのです。「地域への愛着」と、言葉ではよく表現します。でも、愛着をもつためには、「しも町」の「ひと・もの・こと」を知ることが前提であり、「しも町」をフィールドとして学習したことは、一生記憶に残ると信じています。

今後の総合学習からは目が離せません。ぜひ、子どもたちの学習と一緒にかわり、日和っ子に「しも町」のにおいを感じさせてやってください。総合学習でも、ラジオ体操でも、子どもたちとかわり、「顔見知り」になってくださる保護者の皆様、地域の皆様方の「顔」そのものが、「しも町」の「におい」なのです。



ある自治・町内会のラジオ体操に参加した際、まだまだ若い自称おばあさんが、コソコソと話しかけてくださいました。「健康をいただけるんですね。」

夏休み前に発行した「ひよりやま応援隊通信」を読んでもらったのだということが分かり、とてもうれしく思いました。「数多くラジオ体操に参加された皆様方には、日和山小学校から、もれなく『健康』をプレゼントいたします。」と書いたことに対して反応して下さったわけです。読んでもらったこともうれしかったのですが、ラジオ体操に参加することで、子どもたちと「顔見知り」になってくださり、「しも町」の「におい」になって下さったことを本当にうれしく思いました。思わず元気に答えてしまいました。

「今日は大サービスの日なので、2倍です！」と。.....大喜びしてくださいました。

